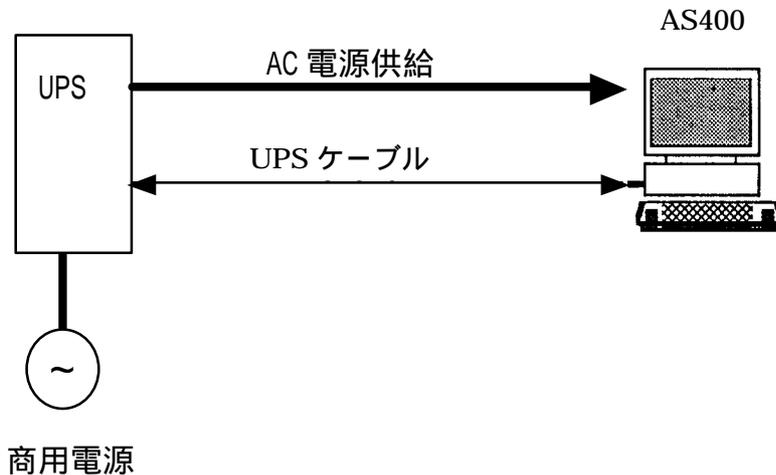


**AS400 標準搭載UPS 機能使用方法**

## &lt; 接続方法 &gt;

UPS 本体入力部に商用電源を接続し、UPS 本体の AC 出力部とコンピュータの電源コンセントを接続します。UPS の S I G N A L ポートとコンピュータの UPS ポートとを AS400 対応ケーブルで接続します（常時商用タイプの場合は付属ケーブルを使用せず directly 接続してください。尚、UPS 背面のディップスイッチは全て OFF にしてください。



## 停電対策

## 1. デフォルト設定の場合

デフォルト設定での停電時処理動作は停電が約 4 5 秒間継続すると、AS400 をシャットダウンします。また、商用電源復旧後にシステムを自動的に再起動することができません。

## 2. ユーザ設定を行った場合

**QUPSDLYTIM** の設定値により、AS400 システムがシャットダウンを実行するのに十分な時間（UPS のバックアップタイム可能時間内：推奨値は 1 2 0 秒）を指定することで、指定時間後にシャットダウンを開始します。また、**QPWRRSTIPL** を 1 に設定することで、商用電源復旧後にシステムの自動再起動が可能となります。

以下に設定方法について説明します。

## &lt; 設定方法 &gt;

1. コンソール及び AS400 本体の電源を投入してください。
2. サインオン画面のユーザ行に QSECOFR（最高権限者）を入力し、改行キーをおしてください。するとカーソルがパスワード行に移動するので、パスワード（デフォルト: QSECOFR）を入力し、実行キーを押してください。
3. メインメニュー画面のコマンド入力欄に WRKSYSVAL と入力し、実行キーを押してください。
4. システム値の処理画面で QUPSMGQ の設定で、電源障害のメッセージを受け入れるメッセージ待ち行列の名前を指定します。デフォルト値は QSYSOPR（システム操作員）です。
5. システム値の処理画面で QUPSDLYTIM の設定で、電源障害から保護開始（シャットダウン開始）までの遅延時間をシャットダウンを実行するのに十分な時間（UPS のバックアップタイム可能時間内：推奨値は 1 2 0 秒）に設定します。デフォルト値は CALC（4 5 秒）です。
6. システム値の処理画面で QPWRRSTIPL の設定で、電源復電後の再起動の有無を指定します。デフォルト値は 0（再起動しない）です。再起動させる場合は 1 を設定してください。

## &lt; 対応機種 &gt;

AS400e シリーズ、AS400 アドバンストシリーズ

## &lt; 対応 UPS &gt;

HYPER、NPC、NS、NSR、PC、FYPC シリーズ